



2022年9月28日

報道関係者 各位

(公財)世界宗教者平和会議 (WCRP/RfP) 日本委員会

プレスリリース

WCRP/RfP日本委員会 新理事長に戸松義晴師



植松誠師（写真左）と戸松義晴新理事長（同右）

世界宗教者平和会議 (WCRP/RfP) 日本委員会は9月13日、立正佼成会京都普門館 (京都市) で記者会見を開き、同日に行われた「第41回理事会」において、戸松義晴・浄土宗心光院住職 (浄土宗総合研究所副所長) が新理事長に選任されたことを発表しました。

記者会見では冒頭、篠原祥哲事務局長が任期満了に伴う役員改選について説明。これまで理事長を2期4年務めてきた植松誠師 (日本聖公会主教) の後任に、戸松師が満場一致で新理事長に選任 (任期2年) されたことを報告しました。

戸松師は1953年、東京都生まれ。慶應義塾大学、大正大学大学院を経て、ハーバード大学大学院神学校で神学修士号を取得。93年から浄土宗心光院住職を務め、全日本仏教会 (全日仏) 理事長、日本宗教連盟 (日宗連) 理事長などを歴任。今年6月からはWCRP/RfP日本委の理事を務めています。

記者会見で戸松師は、宗教者は世界の諸問題解決に向け、「安全なところで祈りを捧げているだけ」と指摘されることもあるが、WCRP/RfPはさまざまな問題に対して具体的な活動を行っているとの説明。宗教者は悩み苦しむ人々と触れ合い、手を差し伸べていくことが大切と強調した上で、「宗教者が一人の人間として多くの人の喜びや悲しみに寄り添っていけるよう、現場性を大事にしていきたい」と所信を表明しました。

世界宗教者平和会議 (WCRP/RfP)

1970年に発足した国際NGO。国連経済社会理事会に属し、1999年に総合協議資格を取得。世界90カ国以上にわたる国際諸宗教ネットワークとして諸宗教間の対話・協力を通じた紛争和解や平和教育などの平和構築活動を行っています。同日本委員会は、1972年に日本宗教連盟の国際問題委員会を母体として発足し、現在は公益財団法人として諸宗教連帯による平和活動を行っています。

〔問い合わせ〕 (公財)世界宗教者平和会議 (WCRP/RfP) 日本委員会

住所：東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター3階

TEL：03-3384-2337、FAX：03-3383-7993

広報担当：三善 (080-2003-2031)、木村 (090-2408-7117)